

届け 世界の果てまでも

令和2年 7月21日
No. 22
文責 校長 飯久保一男

顔を合わせないコミュニケーション・文字によるコミュニケーション

若い世代の中には、職場の電話に出られない人がいるという話を聞きます。携帯電話・スマートフォンでは、登録してあれば、電話に出る前に誰から電話がきたのかわかりますが、職場の固定電話では誰から電話がきたのかわかりません。誰かわからない相手と電話をしたことがない、初めて話す相手とどう対応していいのかわからない…、とのことで職場の電話には出たくないということが理由のようです。固定電話がない家庭も増えてきています。電話をするというコミュニケーションのあり方が大きく変わってきています。



私が指導していたミニバスチームでは、招待大会や練習試合（宿泊がなく、日帰りで行けるときの）の誘いがあった場合、私の判断で参加・不参加を決めさせてもらっていました。参加する場合は、私からチームの保護者に日時や会場などを一斉にメール送信していました。土日を使って行われるので、なるべく早く予定に入れてもらうためです。メールのいいところは、送信した相手が都合のいいときに見ることができることです。急ぎでない場合の連絡に適しています。日時などを文字で伝えるために正確に伝わります。

私は、これらの連絡のためにメールを使っていたのですが、ときどき、保護者から私への相談がメールで送信されてくることがありました。次回、練習に行ったときに対面で話せばいいことなのに…。中には、チームを辞めるなどという強烈なメールが来ることもありました。メールでやり取りしていたのではなかなか話が進みませんので、電話をほしいとメールをします。でも電話がきません。待ってられないので、こちらから電話をします。でも相手が出ません。仕方がなく、メールで返信します。すると…、膨大な量のメールが**ドーン**と送られてきます。つまり、その保護者は私との直接の会話よりも、文字によるコミュニケーションを求めているのです。こういう場合、かなり一方的な文章がほとんどです…。

若い世代に限らず、今、顔を見て話をするのは苦手、電話で会話をするのも苦手、メールやラインなどでは言いたいことを伝えられるという人が増えているようです。近くにいるのだから話せばいいのに、わざわざラインで会話をしているようなこともあるそうです。ある意味ナイショ話になるのでしょうか…。SNSの影響で、コミュニケーションの方法が大きく変わってきているのです。

…この通信も、文字を使って伝えていますので、ある意味、直接会話をしないコミュニケーションの一つになるのですが…。

しかし、相手と話さずに文字でコミュニケーションをすることは、トラブルに発展してしまう場合もあることを理解していなければなりません。SNSなどのやり取りがトラブルに発展した例です。

その1 みんなで出かけることになりました。それを聞いたAが「私も行っていい？」と他のメンバーに送信したところ、Bから「**何で来るの**」と返信があり、トラブル（仲間外れ・いじめ）に発展しました。Bは「交通手段は何を使ってくるの？」という意味で送信したのですが、Aは「**何であんたが来るのよ!**」と受け取ったのです。



その2 CがDの誕生日にぬいぐるみをプレゼントしました。喜んだDは、そのぬいぐるみの写真を載せて「このぬいぐるみ、**かわいくない**」と友達に送信しました。若い女の子などが使う「～ない」という言葉は「かわいくない↴」と疑問文風にイントネーションを変えることで、「かわいいよね」という意味をもちます。Dはもらったぬいぐるみを「かわいい」という意味でこの言葉を書き添えたのですが、Cは文字通り「かわいくない」と受け取り、自分が贈ったプレゼントをかわいくないといいふらしていると受け取ってしまい、トラブル（仲間外れ・いじめ）に発展しました。

その1・その2ともに、直接話をしていれば、トラブルに発展していなかったと思われる内容です。文字によるコミュニケーションであるがために、起きてしまったトラブルです。

…この通信は、伝えたいことが伝わるか、おかしい表現はないか、誤字・脱字がないかなど、必ず教頭 t のチェックを受けています。

インターネットの掲示板などを見ると、匿名やハンドルネームなどの場合、過激な文になっていたり、相手を誹謗・中傷するものになっていたり書きたい放題のものがああります。インターネットでの誹謗・中傷がもとで自殺に追い込まれた女子プロレスラーのことが先日報道されていました。顔を合わせて話をするのであれば、そこまで過激なことにはならないはずですが。

大人でもそうなので、**子どもたちにとっても、直接相手の顔を見ないで、文字や声でコミュニケーションをすることは、相手に対して過激な言葉をつかってしまう理由になるようです。**また、前述のトラブルのように、別の意味で伝わってしまうこともあり、心配な面があります。子どもたちが**メールやラインなどをする場合、大人のいるところであるなどの約束づくりをお願いします。**ゲーム機でも、オンラインでゲームをするものは**会話機能がついている場合があります**ので、同じことが心配されます。特に対戦する形式のものは負けたときなどに、相手に感情をぶつけてしまうこともあるようです。

その他にも、ラインをしていて相手との会話が終われないこと、オンラインの対戦型のゲームをしていて相手がいるので終われないことなどによる睡眠不足で、日常生活に支障が出ているなどの事例もあります。さらに、他人の名を語って掲示板などに投稿してトラブルになったり、脅迫じみたことをしてしまったり…、などという事例も実際に小学生の事例として報告されています。



携帯もスマホも、便利なものなので使うことはやぶさかではありませんが、特にSNSを使うにはルールがあります。ともすると今回書いたようなトラブルや仲間外れ・いじめにつながる場合があります。さらには、言葉巧みにだまされて、高額な金額を要求されたり、事件に巻き込まれたりすることなども身近にあり得る話なのです。親として心がけてほしいことは、まず、**持たせる必要があるのかを慎重に考えること、持たせるのであれば、正しい使い方を教え、そして、約束づくりをすること**です。これは最低条件です。

◇◇◇◇◇◇◇◇

◇◇◇◇◇◇◇◇

全く話は変わりますが、こんな文章を見つけました。不思議です。

こんにちは みさなん おんげき ですか？ わしたは げんき です。
 この ぶんしょう は イリギスの ケブンツリジ だがいくの けゆきんう の けっか
 にんんげ は もじを にしんき するとき その さしいよ と さいご の もさじえ あいてつれば
 じばんゆん は めくちちゃや でも ちんやと よめる という けゆきんう に もづいとて
 わざと もじの じんばゆん を いかれえて あまりす。
 どうぞ？ ちんやと よやちめう でしょ？